

〈支援企業を訪問しました〉 社会福祉法人 一粒 殿

「施設利用者の工賃向上は 無添加焼きたてパンと行田在来青大豆豆腐で！」

社会福祉法人一粒（関博人理事長）は主に鴻巣市内で、職員数135名で、障がい福祉、高齢介護、児童発達支援等の事業を総合的に展開しています。“ノーマライゼーション、”の理念のもと、障がいがあっても誰もが地域で普通に暮らせるように、知的障がいのある方々へのグループホーム、日中の通所事業「かるぼす」と「こぼす」の他、相談支援、障がい児デイサービス、高齢者向け住宅「風の街」を開設しています。この中で、「かるぼす」にはパン・焼き菓子工房パンドノアが、「こぼす」には豆腐工房一粒があり、それぞれ地域一番の店づくりをめざしています。

平成24年、埼玉県が県内就労支援事業所を対象に、3か年間に亘る「障害者就労施設・シニア世代連携事業」に、「こぼす・かるぼす」がここに通う障がい利用者の工賃向上のため、パンと豆腐の販売強化を主要テーマに応募し、アブセックのセルプの会が受託者として、採択されました。

私たちアブセックとしても幸い、各種業界企業での責任者等経験豊富な多士済済のメンバーが揃っていますので、こういう機会に、福祉事業所の売上アップに少しでもお役に立てるのならと、支援する側として応募し、認定されました。



これまで延べ3年、「こぼす・かるぼす」の運営を分析し、企業のみで助言を重ねました。パン工房は工房移転による製造と販売の一体化、豆腐工房は生産設備の見直しを始め、販路拡大の提案、看板・移動販売車のデザイン一新、接客・陳列・POP等各種販促の改善、組織力強化と職場環境整備のために法人全体の5Sへの取組等をアドバイスし、施設職員も真摯に受け止めて下さり、手ごたえを感じつつ取組んでまいりました。

〈パン工房〉 販路拡大の具体的な成果として、お客様のご理解を得て、イトーヨーカ堂上尾駅前店、JAあだちの若宮等への豆腐の委託販売、県衛生研究所、テイ・エス・テック社、コスモスアリーナ等の定期販売先、COOPみらい等のイベント出店の成果を得ることが出来、取組以前と比較しますと工賃は約150%にアップと大幅な成果を上げることができました。

最後に、関理事長から『福祉で働く人は良いものを作ることに一生懸命でも、売上を伸ばすノウハウには疎くて、元企業戦士の諸先輩から懇切丁寧なご指導を頂きました。今後、商品に磨きをかけ、お客様に評価され、その結果が利用者の更なる工賃向上につながるように、施設一同頑張ります』との強い決意をいただきました。



〈パンドノアの陳列・POP〉



〈ブランド・イメージの販売バナー〉

（斉木 記）

ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会
アブセック事務局 TEL 048-773-3111 E-mail abcec@ageocci.or.jp